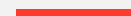




# Manus基礎

行動するAIエージェント



思考を実行に移す、次世代の汎用AI

# 従来のAIとManusの違い

## 従来のAI

- 情報提供

質問に対するテキストや画像の生成

- 受動的

ユーザーの指示を待って応答する

- 実行の限界

複雑なタスクの実行には、ユーザーによる手動操作が必要

## Manus

- タスク実行

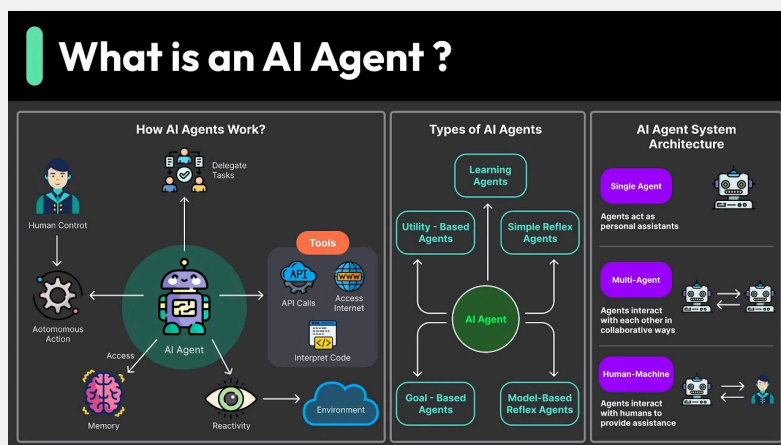
計画立案から実行、結果の納品までを自律的に行う

- 能動的

目的達成のために自ら行動を選択し、実行する

- 能力の拡張

デジタルツールを駆使し、人間のリーチを拡張する



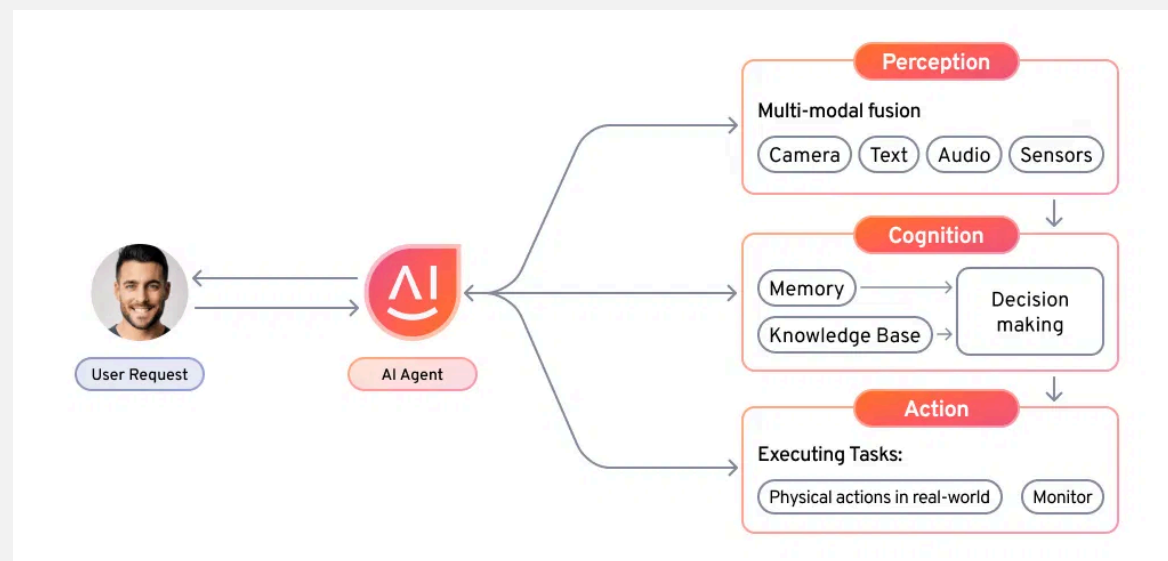
# Manusとは？

## 自律的な汎用AIエージェント

- **定義**：ユーザーの思考を具体的な行動と成果に変換するために設計されたAIシステム
- **語源**：ラテン語で「手」を意味し、ユーザーの「手足」となって作業を代行する役割を象徴

## 核心的な役割

- **複雑なタスク自動化**：複数のステップとツールを必要とする複雑な作業をエンドツーエンドで処理
- **例**：調査レポート作成、ウェブサイト構築、プレゼンテーション生成、データ分析



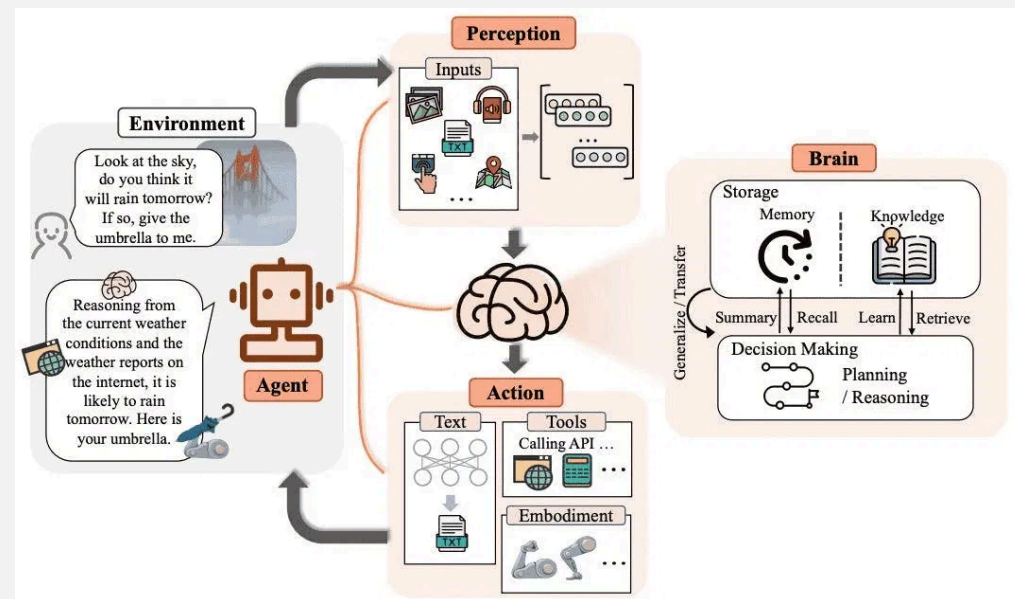
# コアコンセプト

## 単なるチャットボットではない

- **計画**：ユーザーの要求を分析し、達成のための詳細なタスクプランを立案
- **実行**：計画に基づき、シェルコマンド、ファイル操作、ブラウザ操作などのデジタルツールを自律的に利用
- **反復と修正**：実行中に発生したエラーや予期せぬ事態を診断し、計画を修正しながらタスクを完遂

## 成果物志向のアプローチ

- **最終成果物**：ユーザーが求める具体的なファイル、ウェブサイト、自動化されたプロセスなどを直接提供
- **プロセス**：成果を出すために必要な一連の思考、ツール利用、試行錯誤のプロセスを内包



# 主要な機能（1）

## 複雑なマルチステップタスクの自律的実行

### 最小限の指示で最大限の成果を引き出す

---

- **自律性**：継続的な人間の介入なしに、タスクを分析し、計画し、実行する能力
- **マルチステップ管理**：複数の段階、異なるツール、異なる環境をまたぐ複雑なタスクを統合的に管理

### 実行可能なタスクの例

---

- **情報収集と文書作成**：複数の情報源からのデータ収集、分析、レポートの執筆
- **ウェブ開発**：フロントエンドとバックエンドを含むウェブアプリケーションの初期化と構築
- **メディア生成**：画像、音声、スライドなどのコンテンツ生成と編集

# 主要な機能（2）

## ツールを使いこなす能力

---

### シェル

パッケージのインストール、ファイルの操作、スクリプトの実行

### ファイル

テキストの読み書き、編集、バイナリファイルの処理

### ブラウザ

ウェブサイトのナビゲーション、情報抽出、トランザクションの実行

### 検索

最新情報や外部APIの探索と利用

## 隔離された実行環境

---

- クラウドベース仮想マシン：各セッションに専用のLinux環境を提供
- 安全性と再現性：実行環境が隔離されているため、安全かつ再現性の高いタスク実行が可能

## Manusの強み

---

- 複数のツールを統合的に活用し、複雑なワークフローを自動化
- 安全な隔離環境で、信頼性の高い実行を保証
- ユーザーの手動操作を最小化し、生産性を最大化

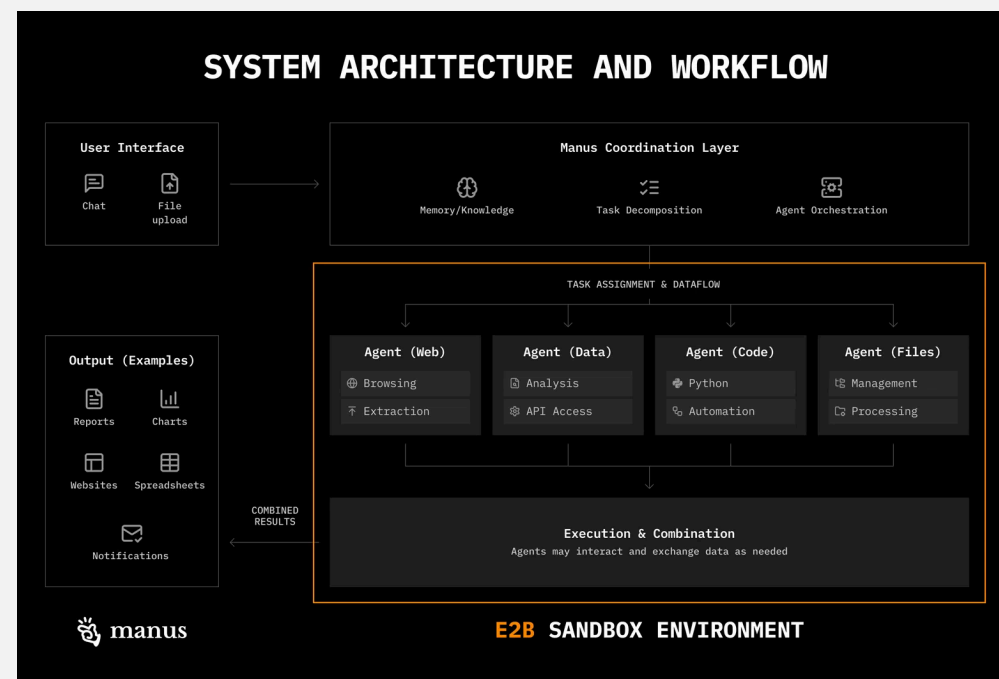
# 技術的基盤

## 安定した実行のための専用環境

- **仮想化**：ユーザーごとに独立したクラウドベースの仮想マシン（VM）を提供
- **永続性**：セッション間で環境の状態（ファイル、インストールされたパッケージなど）が維持される

## 実行環境のメリット

- **セキュリティ**：外部システムへの影響を最小限に抑え、安全にコードを実行
- **柔軟性**：必要なプログラミング言語やライブラリを自由にインストール・利用可能
- **完全なデジタルアクセス**：実際のコンピューターと同様の操作（シェル、ファイルシステム、ネットワーク）が可能



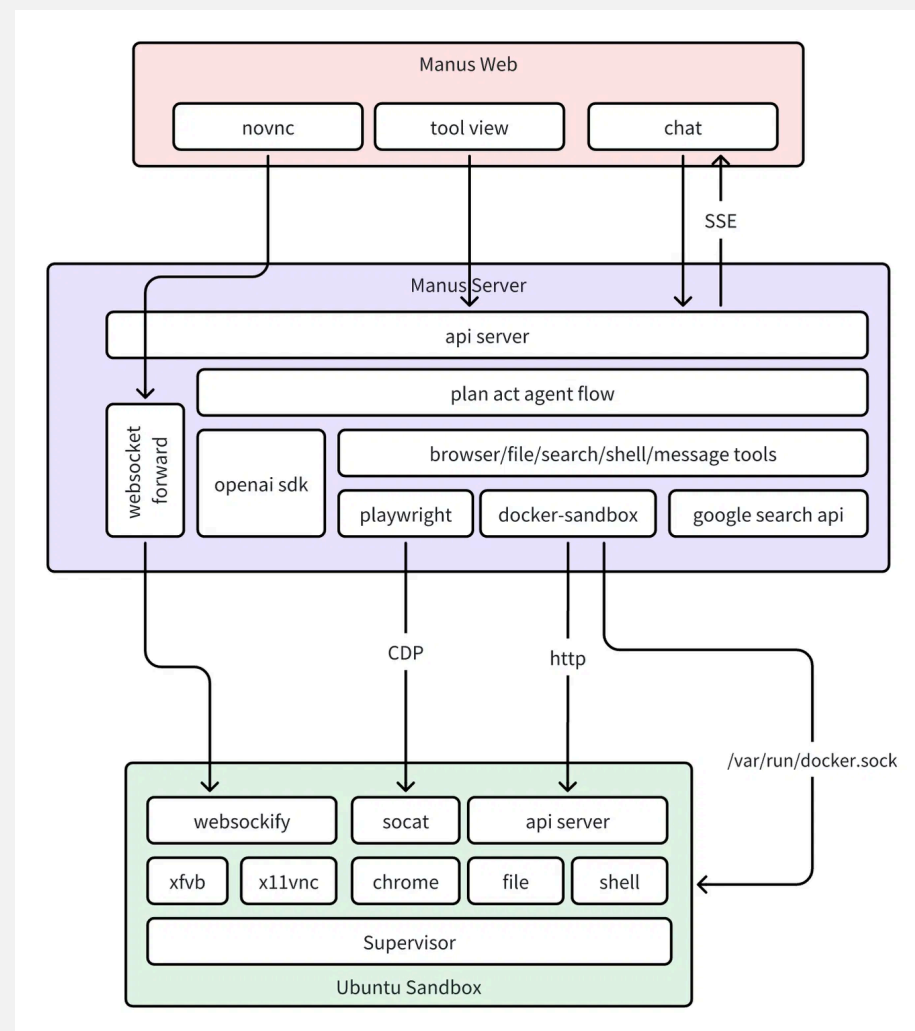
# Manusのアーキテクチャ

## ツール利用の最適化

- **ツール選択**：タスク段階に応じて最適なツール（shell、file、browserなど）を自律的に選択
- **プロトコル**：各ツールとの連携は、厳格に定義されたFunction Callingプロトコルで実行

## コンテキストエンジニアリング

- **思考の連鎖**：複雑なタスク解決のため、内部的な思考プロセスと実行ログを管理
- **状態管理**：実行環境の状態、ツール出力、ユーザー指示を統合し、次の行動を決定





# Manusがもたらす未来

## AIの役割の変革

---

- **受動的から能動的へ**：質問に答えるAIから、目標を達成するAIへのシフト
- **生産性の向上**：人間がより創造的で戦略的なタスクに集中できるよう、定型的な作業をAIが代行

## デジタルデモクラシーの実現

---

- **能力の民主化**：高度なプログラミングスキルや専門知識がなくても、複雑なデジタルタスクを実行可能に
- **人間のリーチの拡張**：物理的な制約を超え、デジタル世界での活動範囲を無限に広げる

# まとめ

## Manusの基礎

---

- **定義**：自律的な汎用AIエージェント
- **コア**：「回答」ではなく「実行」に焦点を当てたアクションエンジン
- **基盤**：サンドボックスVMと高度なツール利用能力

## 次のステップ

---

- **実践**：実際にManusに複雑なタスクを依頼してみる
- **探求**：Manusの提供する多様なツール（ウェブ開発、メディア生成など）を試す
- **統合**：あなたのワークフローにManusを統合し、生産性を最大化する